

2015年（平成27年）  
投資信託に関するアンケート調査  
調査結果サマリー



2016年（平成28年）1月  
一般社団法人 投資信託協会

|                            |    |
|----------------------------|----|
| ■ 調査計画の概要 .....            | 2  |
| 1. 本調査の回答者プロフィール .....     | 3  |
| 2. 投資信託の保有状況 .....         | 4  |
| 3. 投資信託の購入・保有に関する意識 .....  | 6  |
| 4. 投資信託の積立投資の認知・利用状況 ..... | 13 |
| 5. 毎月分配型投資信託についての意識 .....  | 15 |
| 6. NISAに関する実態 .....        | 19 |

- 調査目的など：  
 全国20歳以上男女個人を対象として3年に1回実施  
 投資信託の現在保有者、保有経験者、投資信託関心者、証券保有者、証券関心者といった、  
 投資信託や証券への関わり・関心がある者に対して調査を行い、今後の投資信託の  
 販売および広報活動に役立てる資料とする
- 調査対象：20歳以上の男女個人
- 標本数：2,700サンプル  
 （調査実施先である日本リサーチセンター実施の過去の調査協力者から該当する対象者を抽出）
- 調査方法：郵送調査法
- 調査時期：平成27年9月10日～9月29日
- 回収数：1,523サンプル（回収率 56.4%）

【回答者属性別サンプル数】

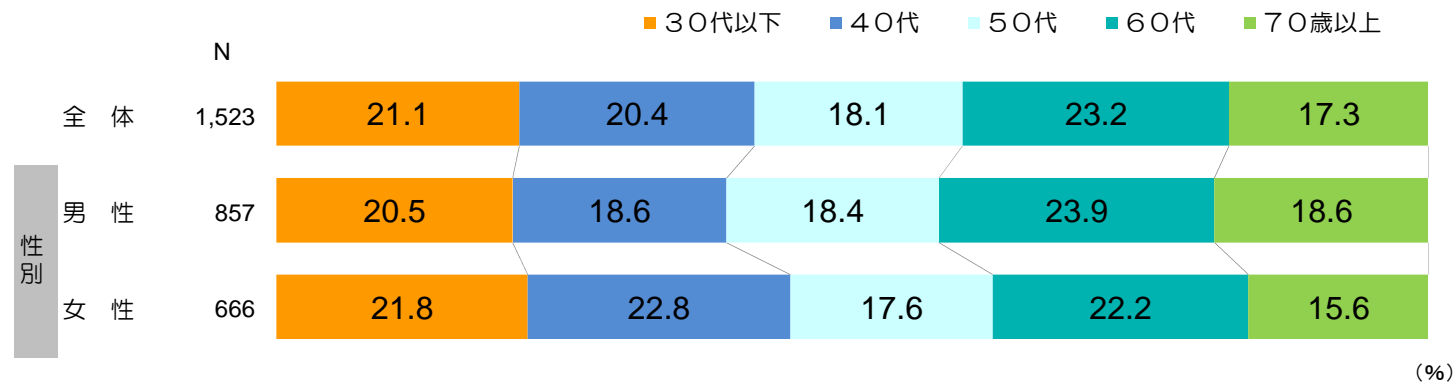
|                     | 男性  | 女性  | 30代以下 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代以上 | 計    |
|---------------------|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-------|------|
| 投信 現在保有層            | 297 | 239 | 62    | 87  | 96  | 148 | 143   | 536  |
| 投信 保有経験層            | 109 | 89  | 14    | 32  | 42  | 60  | 50    | 198  |
| 投信 保有未経験・<br>購入意向層  | 121 | 75  | 72    | 53  | 30  | 30  | 11    | 196  |
| 投信 保有未経験・<br>非購入意向層 | 330 | 263 | 173   | 139 | 107 | 115 | 59    | 593  |
| 計                   | 857 | 666 | 321   | 311 | 275 | 353 | 263   | 1523 |

# 1. 本調査の回答者プロフィール



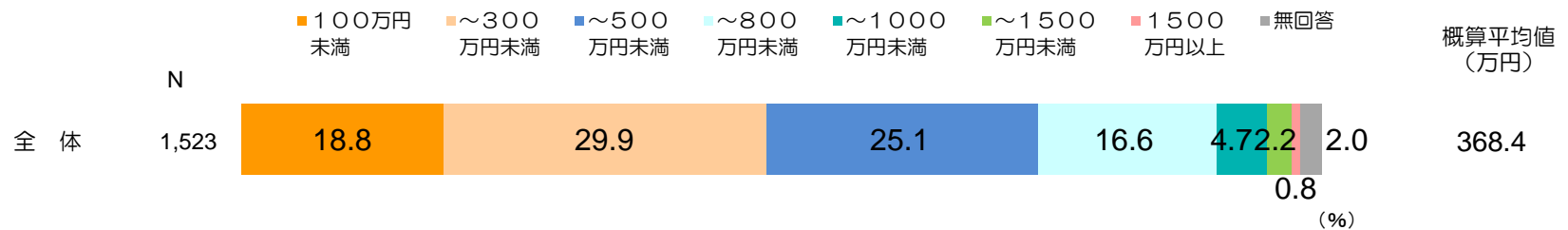
## 回答者の性別・年代

(F1)



## 回答者の年収

(F5)



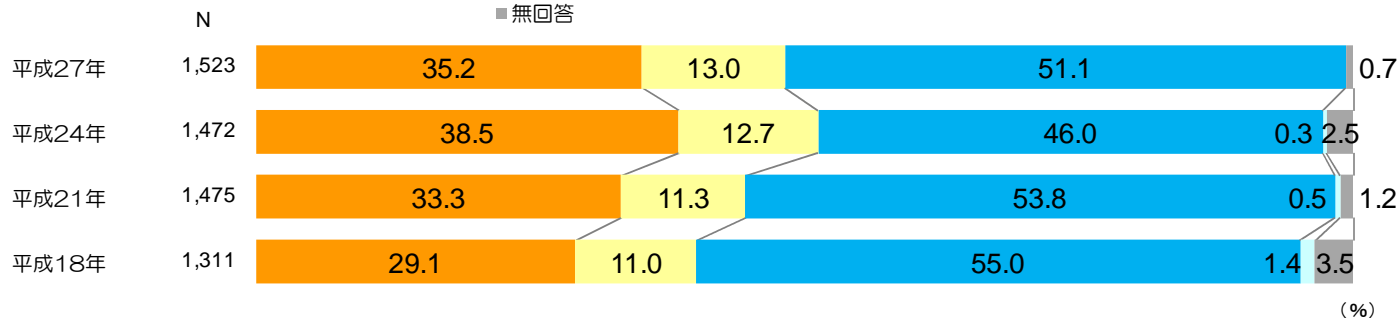
## 2. 投資信託の保有状況（1）

### 投資信託の保有状況

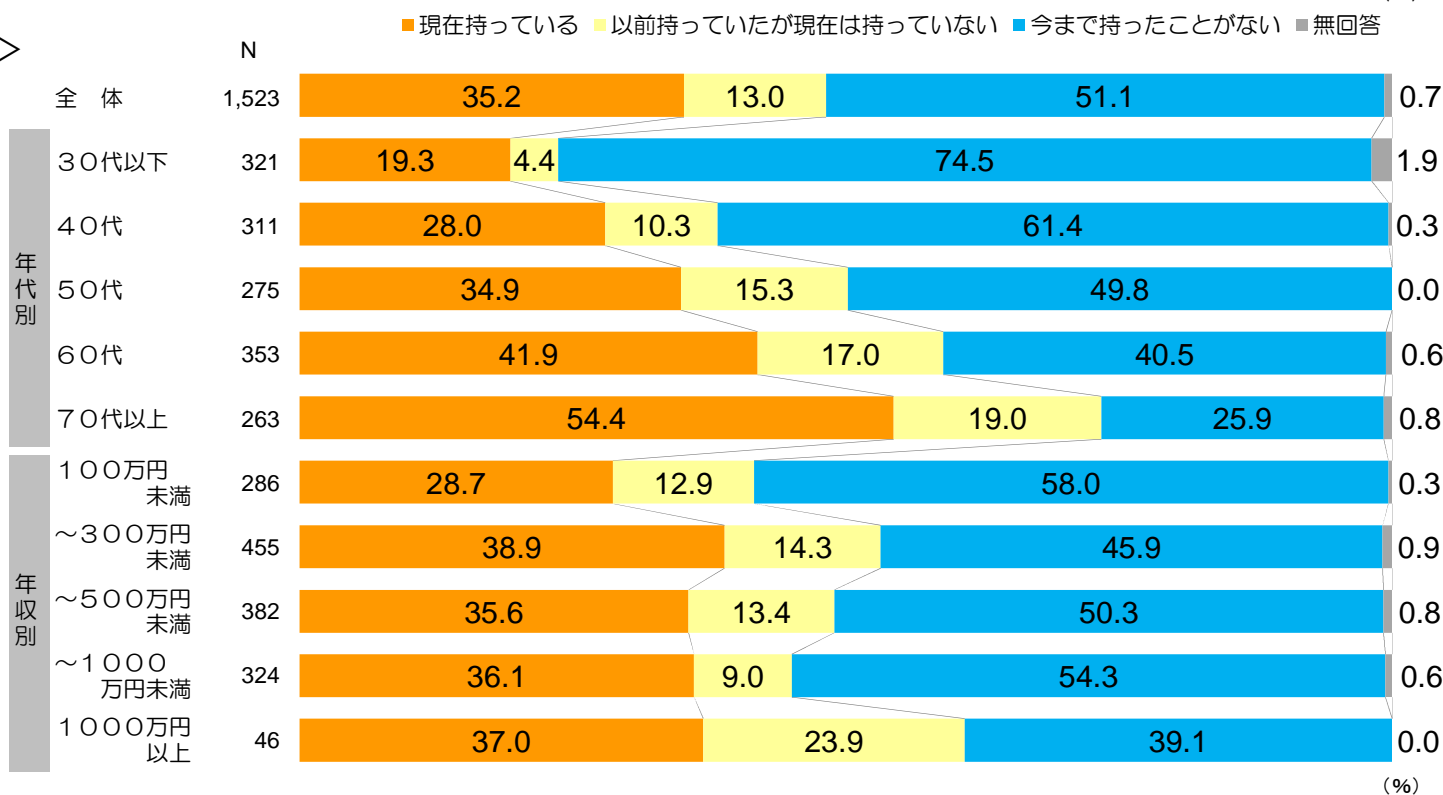
(問2)

■ 現在持っている      ■ 以前持っていたが現在は持っていない  
■ 今まで持ったことがない      ■ 言葉も知らなかった      ※ 平成27年調査では「言葉も知らなかった」を削除  
■ 無回答

#### <時系列>



#### <年代・年収別>



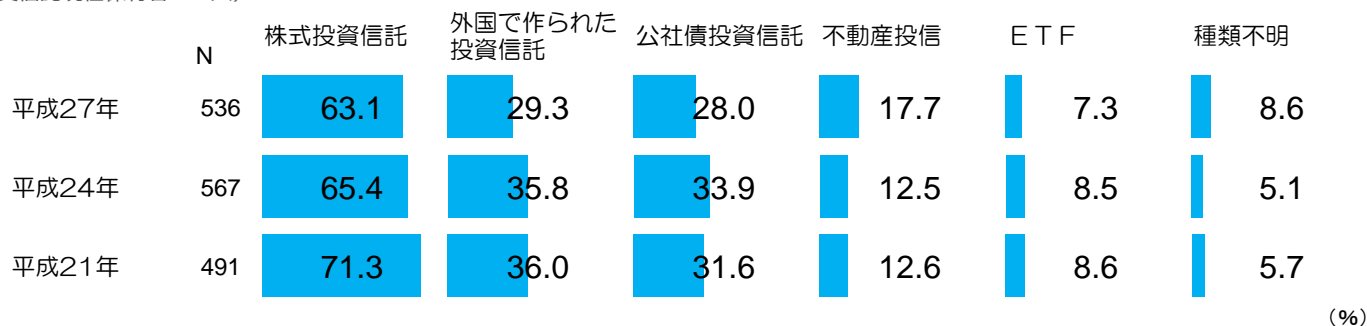
- 投信の保有状況は“現在保有層”が35.2%、“保有経験層”は13.0%、“保有未経験層”は51.1%と半数。
- 年代別で見ると、“現在保有層”“保有経験層”は高齢層ほど多い。
- 年収「100万円未満」は“現在保有層”が少ない。

## 2. 投資信託の保有状況 (2)

### 保有している投資信託の種類 (重複回答)

(問6①)

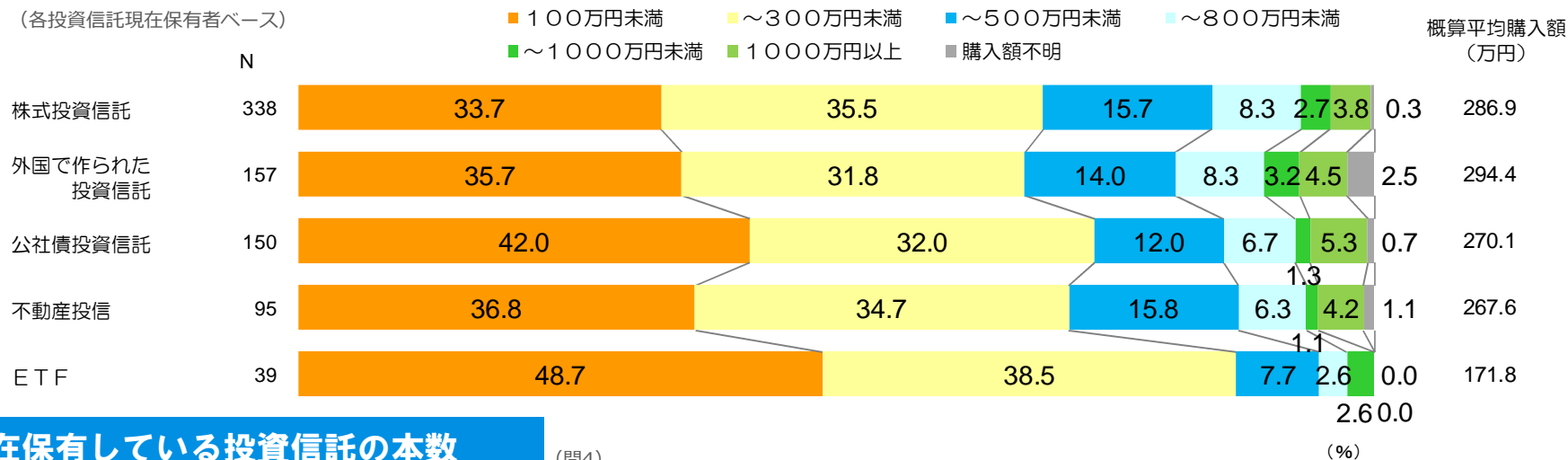
(投資信託現在保有者ベース)



### 保有している投資信託の種類別購入額

(問6②)

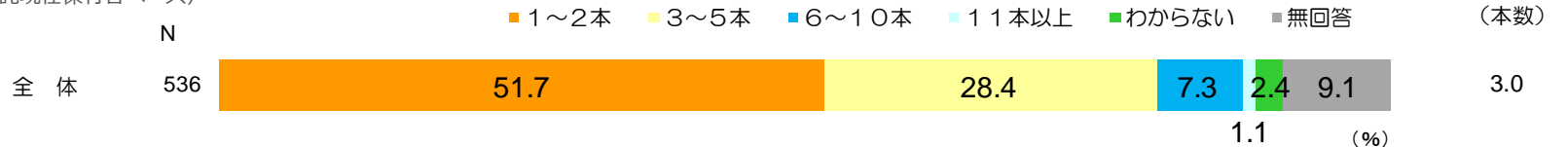
(各投資信託現在保有者ベース)



### 現在保有している投資信託の本数

(問4)

(投資信託現在保有者ベース)



- 投資信託保有者の保有種類は、「株式投信」(63.1%)が最も高いが、時系列では減少傾向。以下、「外国で作られた投信」(29.3%、前回より-6.5 p)、「公社債投信」(28.0%)の順。
- 平均購入額は「外国で作られた投信」「株式投信」が約290万円。
- 現在保有している投信の本数は「1~2本」が半数(51.7%)、平均は3.0本。

### 3. 投資信託の購入・保有に関する意識（1）



#### 運用会社についての考え（重複回答）

(問49)

|       | N     | 販売会社の系列の運用会社が安心 | 高い運用成果をあげていればどこでも良い | 独立系の運用会社に興味がある | 販売会社の系列とは別の運用会社を選びたい | 特にない・わからない | 無回答 |
|-------|-------|-----------------|---------------------|----------------|----------------------|------------|-----|
| 全体    | 1,523 | 23.4            | 21.0                | 3.6            | 3.1                  | 52.7       | 2.0 |
| 年代別   |       |                 |                     |                |                      |            |     |
| 30代以下 | 321   | 18.4            | 20.6                | 4.0            | 3.4                  | 57.6       | 1.2 |
| 40代   | 311   | 23.8            | 19.9                | 2.9            | 3.5                  | 55.0       | 1.3 |
| 50代   | 275   | 22.2            | 21.1                | 4.7            | 1.8                  | 51.6       | 1.8 |
| 60代   | 353   | 22.1            | 22.7                | 3.1            | 3.4                  | 52.7       | 2.0 |
| 70代以上 | 263   | 31.9            | 20.5                | 3.4            | 3.0                  | 44.9       | 3.8 |

(%)

#### 投資信託購入の際の運用会社の重視点（重複回答）

(問50)

|       | N     | 運用力  | 資本力  | 知名度  | 運用体制 | グループカ | 運用哲学 | 特にない・わからない | 無回答 |
|-------|-------|------|------|------|------|-------|------|------------|-----|
| 全体    | 1,523 | 43.4 | 25.5 | 25.3 | 16.7 | 9.7   | 6.4  | 32.6       | 5.8 |
| 年代別   |       |      |      |      |      |       |      |            |     |
| 30代以下 | 321   | 47.0 | 28.0 | 27.1 | 19.9 | 7.2   | 6.9  | 31.8       | 4.0 |
| 40代   | 311   | 44.4 | 25.4 | 22.2 | 19.6 | 7.1   | 4.5  | 35.7       | 2.9 |
| 50代   | 275   | 49.8 | 25.8 | 22.2 | 20.4 | 13.1  | 9.5  | 29.1       | 4.7 |
| 60代   | 353   | 38.8 | 26.3 | 25.8 | 11.9 | 10.2  | 5.7  | 32.9       | 7.9 |
| 70代以上 | 263   | 37.3 | 21.3 | 29.3 | 11.8 | 11.4  | 6.1  | 33.5       | 9.5 |

(%)

- 運用会社についての考えは、「販売会社の系列の運用会社が安心」と「高い運用成果をあげていればどこでも良い」が同程度で高いが、20%台にとどまる。「販売会社の系列の運用会社が安心」は、30代以下では低く、70代以上では高い。
- 投資信託購入の際の運用会社の重視点は、「運用力」(43.4%)が最も高く、次いで「資本力」(25.5%)と「知名度」(25.3%)が同程度で並ぶ。一方、「特にない・わからない」が32.6%みられる。50代以下で「運用力」と「運用体制」の重視率が高い。

### 3. 投資信託の購入・保有に関する意識（2）



#### 投資信託の特徴で知っているもの（重複回答）

(問39)

|       | N            | 元本の保証はない | 銀行などの金融機関でも購入できる | 国内の投信と海外の投信がある | 価格の変動があり、為替リスクがある、外国投資には、 | 相反する関係にあるリスクとリターンは | 投資信託は運用会社が運用している | （信託報酬）がかかる手数料とは別に | MRF・MMF・中期国債ファンドは | 投資商品 | 投資信託協会HPで閲覧可能な標準価額は新聞や | 投資信託の会社がある | 投資信託は信託銀行で | 知っているものはない | 無回答 |
|-------|--------------|----------|------------------|----------------|---------------------------|--------------------|------------------|-------------------|-------------------|------|------------------------|------------|------------|------------|-----|
| 全体    | 1,523        | 69.3     | 53.8             | 44.7           | 44.4                      | 35.8               | 32.0             | 24.6              | 22.5              | 17.1 | 12.7                   | 9.7        | 14.6       | 1.6        |     |
| 年代別   | 30代以下        | 321      | 53.0             | 41.7           | 29.9                      | 29.9               | 29.6             | 26.5              | 16.5              | 11.5 | 12.5                   | 12.8       | 7.8        | 25.2       | 1.2 |
|       | 40代          | 311      | 69.1             | 52.4           | 42.1                      | 43.1               | 37.6             | 31.5              | 24.4              | 21.9 | 16.1                   | 11.6       | 7.7        | 15.1       | 0.3 |
|       | 50代          | 275      | 78.9             | 55.6           | 52.7                      | 48.7               | 40.0             | 33.5              | 29.8              | 32.0 | 20.7                   | 17.5       | 13.5       | 9.5        | 1.1 |
|       | 60代          | 353      | 72.8             | 62.0           | 50.1                      | 50.7               | 41.1             | 33.4              | 26.1              | 27.5 | 20.4                   | 11.6       | 9.9        | 9.9        | 2.0 |
|       | 70代以上        | 263      | 74.5             | 57.4           | 50.2                      | 50.6               | 29.7             | 36.1              | 27.0              | 20.2 | 15.6                   | 10.3       | 9.9        | 12.5       | 3.4 |
| 保有状況別 | 現在保有層        | 536      | 86.2             | 71.6           | 66.6                      | 65.3               | 49.8             | 51.1              | 44.2              | 32.3 | 32.3                   | 20.1       | 15.1       | 3.0        | 1.3 |
|       | 保有経験層        | 198      | 81.3             | 69.2           | 58.1                      | 56.1               | 35.4             | 39.4              | 27.8              | 34.8 | 19.2                   | 20.7       | 14.6       | 5.1        | 2.0 |
|       | 保有未経験・購入意向層  | 196      | 69.9             | 55.1           | 37.8                      | 38.3               | 35.7             | 26.0              | 17.9              | 16.8 | 9.7                    | 11.2       | 6.6        | 12.2       | 1.0 |
|       | 保有未経験・非購入意向層 | 593      | 49.7             | 32.2           | 22.8                      | 23.6               | 23.3             | 14.3              | 7.9               | 11.5 | 5.1                    | 3.7        | 4.0        | 29.0       | 1.9 |

(%)

- 投資信託の特徴認知率は、「元本の保証はない」(69.3%)が最も高い。以下、「銀行などの金融機関でも購入できる」(53.8%)、「国内の投信と海外の投信がある」(44.7%)、「価格の変動があり、その他に外国に投資するものには為替リスクがある」(44.4%)の順。
- 30代以下は全般的に認知率が低い一方、50代以上の高年齢層では他の年代に比べて認知率が高い項目が多い。
- ほとんどの項目で高い順に、現在保有層、保有経験層、保有未経験・購入意向層、同・非購入意向層となっている。



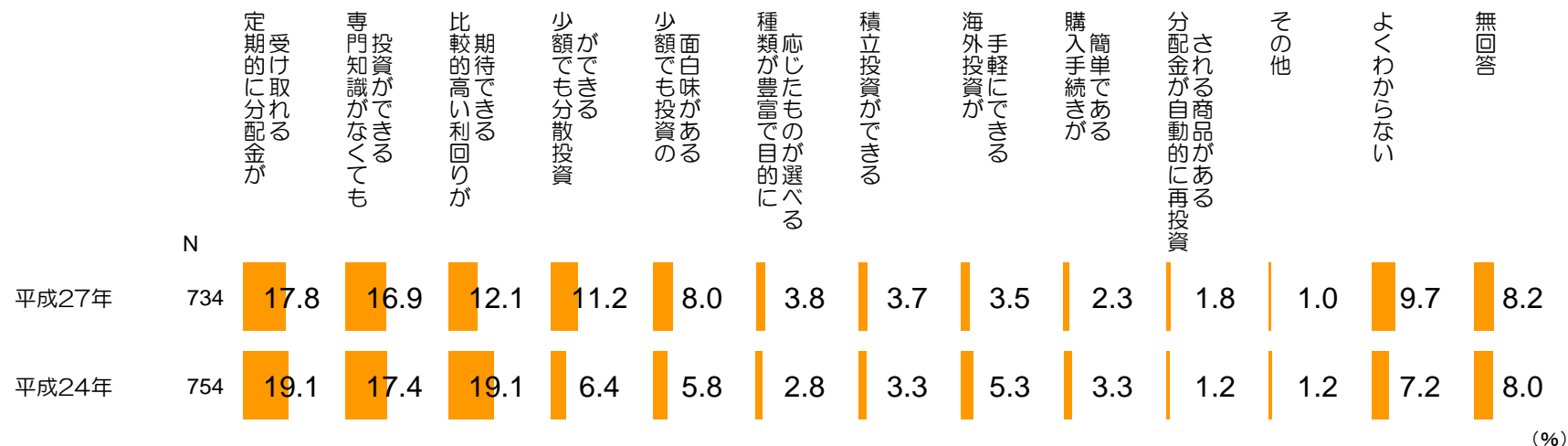
### 3. 投資信託の購入・保有に関する意識（3）



#### 他の金融商品と比較して投資信託に特に魅力を感じる点

(問25②)

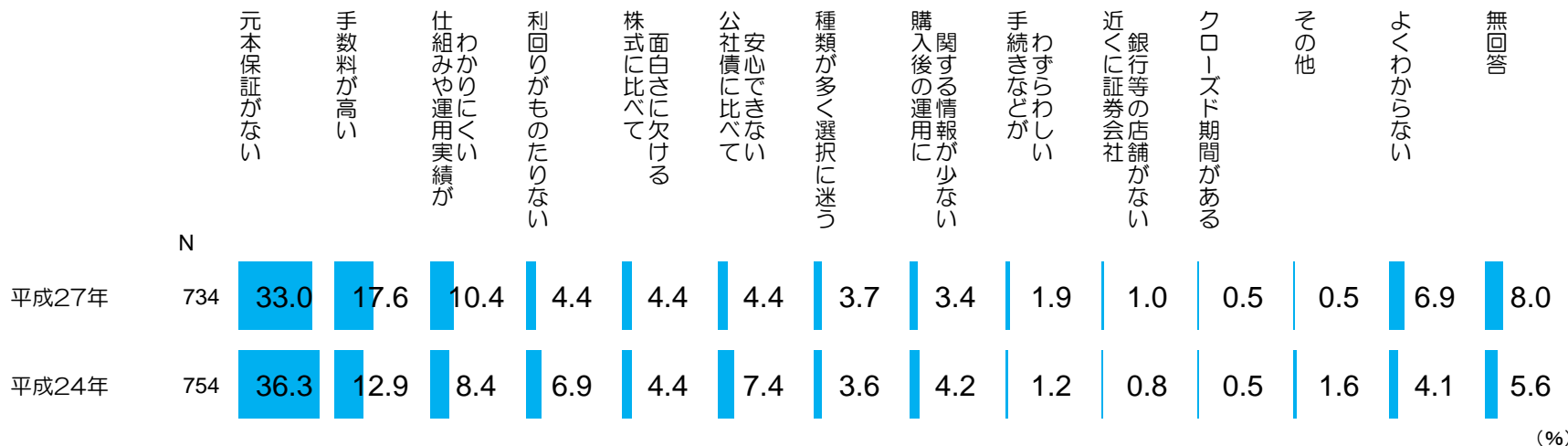
(投資信託現在保有者・保有経験者ベース)



#### 他の金融商品と比較して投資信託に特に不満を感じる点

(問26②)

(投資信託現在保有者・保有経験者ベース)



- 他の金融商品と比較して、投資信託に特に魅力を感じる点は、「定期的に分  
配金が受け取れる」と「専門知識がなくても投資ができる」がともに約17%で上位。  
前回に比べて「比較的高い利回りが期待できる」は-7.0 p、「少額でも分散投資ができる」は+4.8 p。
- 一方、特に不満を感じる点では「元本保証がない」(33.0%)が特に高く、これに続く「手数料が高い」(17.6%、前回より+4.7 p)は増加傾向。

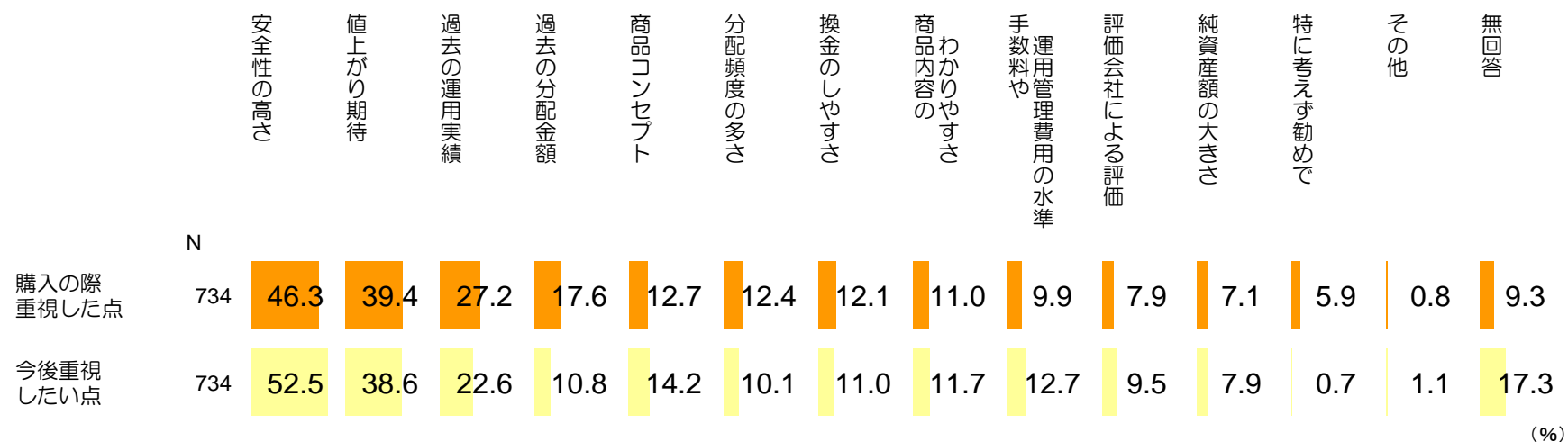
### 3. 投資信託の購入・保有に関する意識（4）



#### 投資信託の購入の際に重視した点・今後重視したい点（重複回答）

（問17①②）

（投資信託現在保有者・保有経験者ベース）



●投資信託の購入の際に重視した点と今後重視したい点については、ともに「安全性の高さ」（順に46.3%、52.5%）が最も高く、次いで「値上がり期待」（39.4%、38.6%）、「過去の運用実績」（27.2%、22.6%）の順。

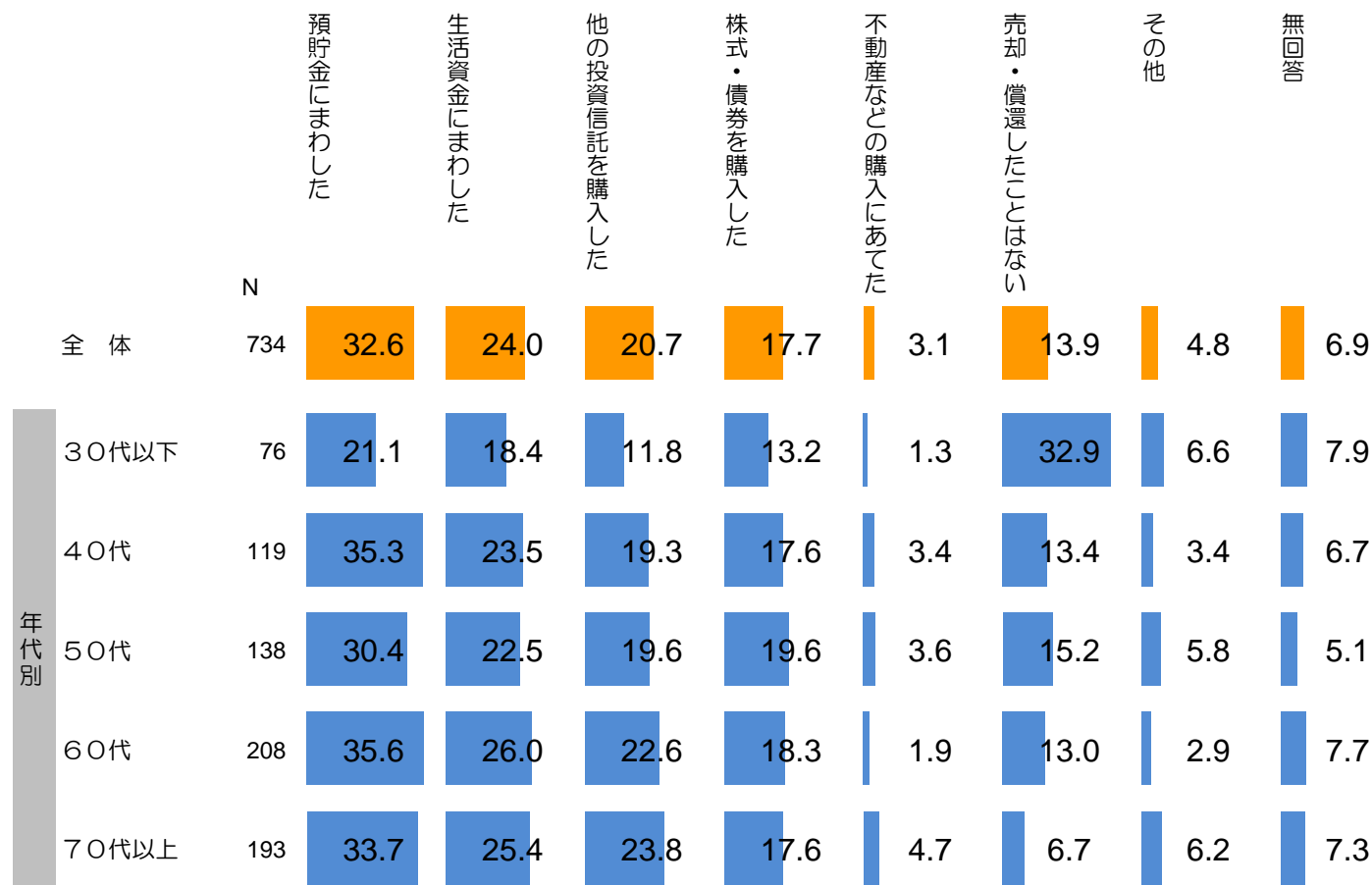
### 3. 投資信託の購入・保有に関する意識（5）



#### 投資信託の償還・売却で得た資金の流出先（重複回答）

（問22）

（投資信託現在保有者・保有経験者ベース）



- 投資信託の償還や売却で得た資金の流出先は、比率の高いものから、「預貯金にまわした」（32.6%）、「生活資金にまわした」（24.0%）、「他の投信を購入」（20.7%）、「株式・債券を購入」（17.7%）の順。
- 30代以下は「売却・償還したことはない」が特に高い。

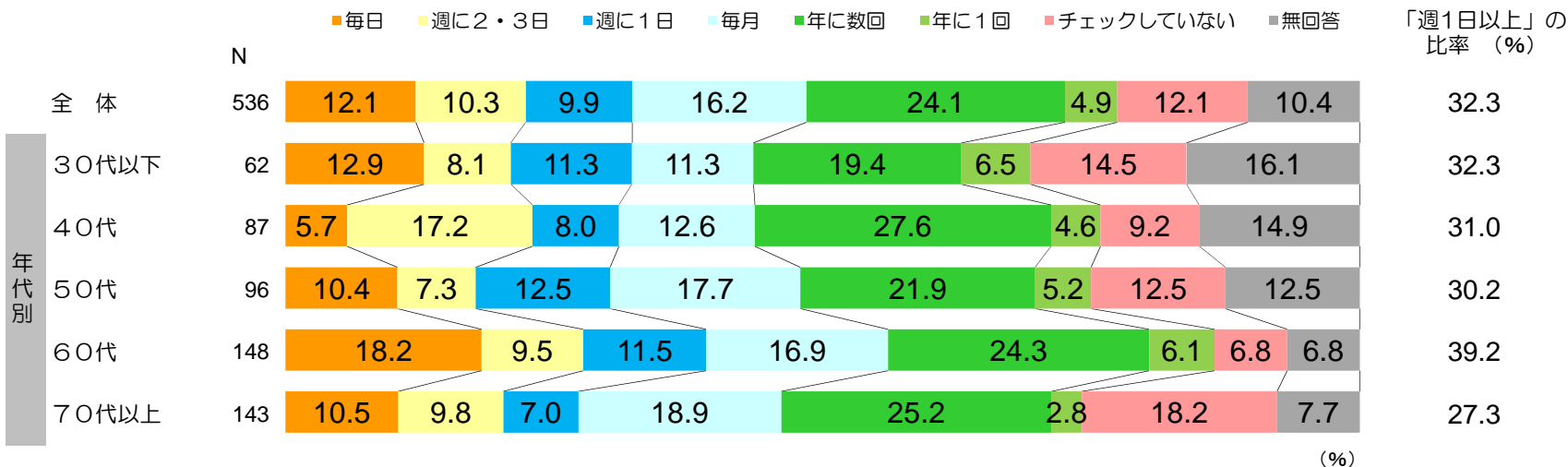
### 3. 投資信託の購入・保有に関する意識（6）



#### 保有している投資信託の基準価額の確認頻度

(問8)

(投資信託現在保有者ベース)

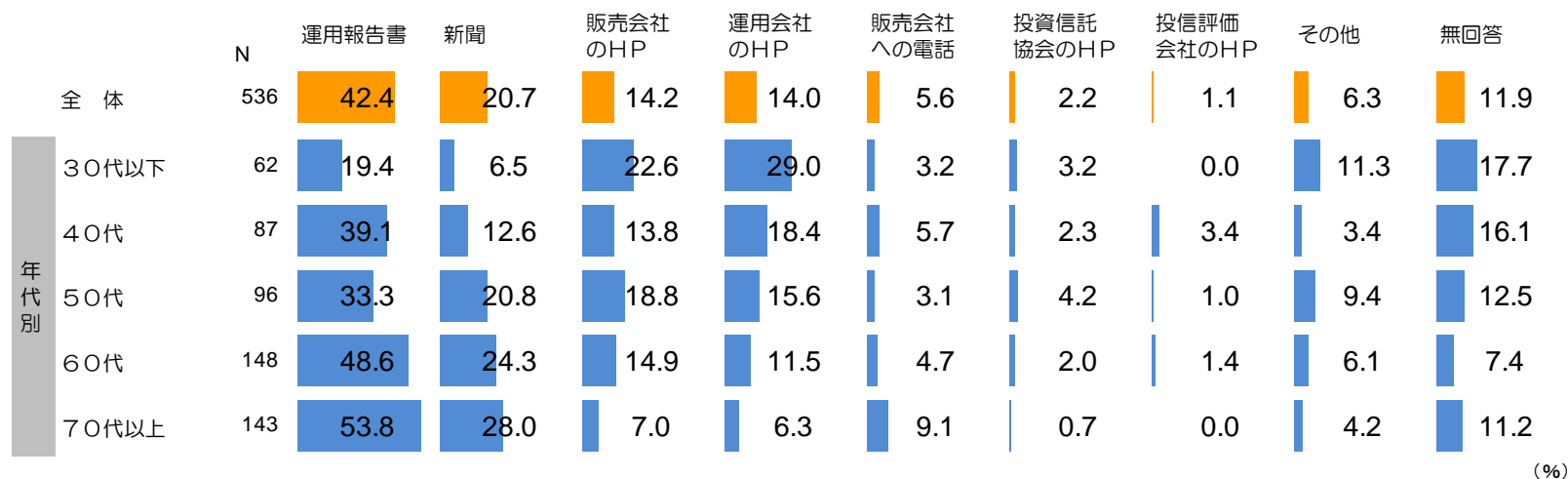


(%)

#### 保有している投資信託の基準価額の確認方法（重複回答）

(問9)

(投資信託現在保有者ベース)



(%)

●保有している投資信託の基準価額をどのくらいの頻度で確認しているか尋ねたところ、“週に1日以上”の高頻度の人は32.3%。

年代別でみると、60代が高い。70代以上は「チェックしていない」が20%近くと高い。

●基準価額の確認方法は、「運用報告書」（42.4%）が最も高く、「新聞」（20.7%）が続き、「販売会社のHP」「運用会社のHP」が14%台で並ぶ。

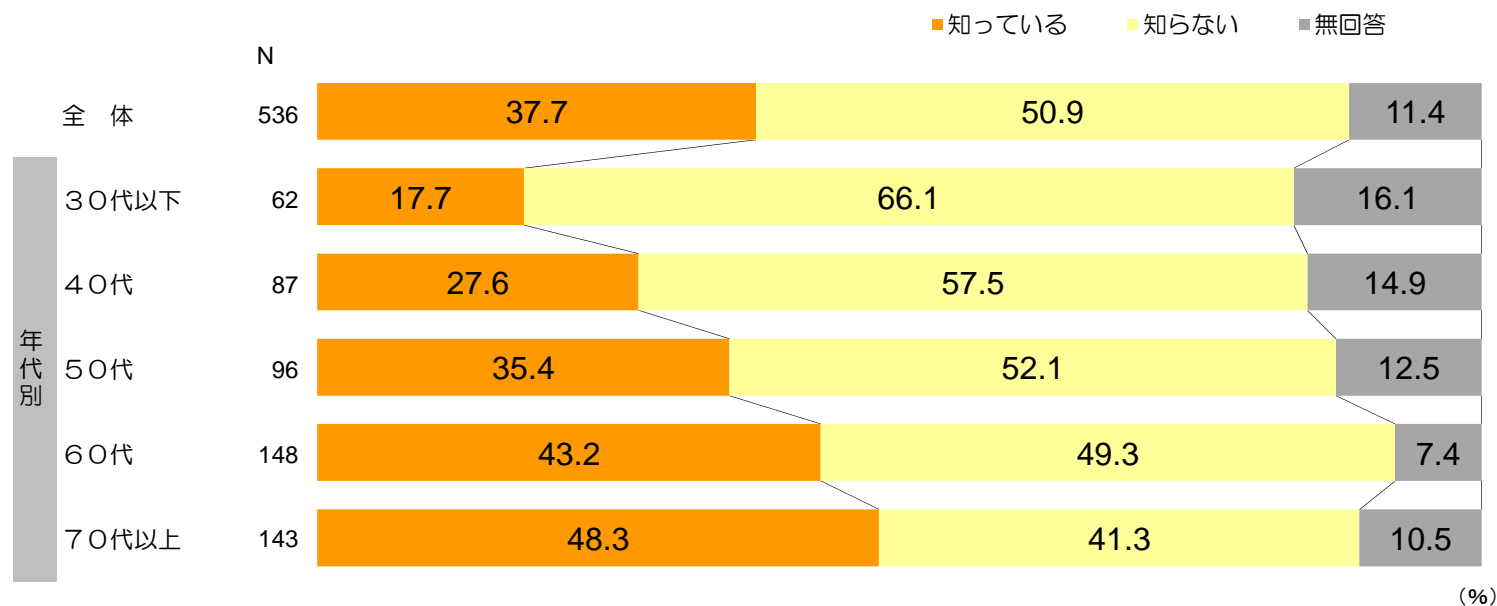
「運用報告書」や「新聞」といった紙媒体は高齢層ほど、「販売会社のHP」や「運用会社のHP」といったネット情報は若年層ほど高い。

### 3. 投資信託の購入・保有に関する意識（7）

#### トータルリターン通知制度の認知状況

(問12)

(投資信託現在保有者ベース)



(%)

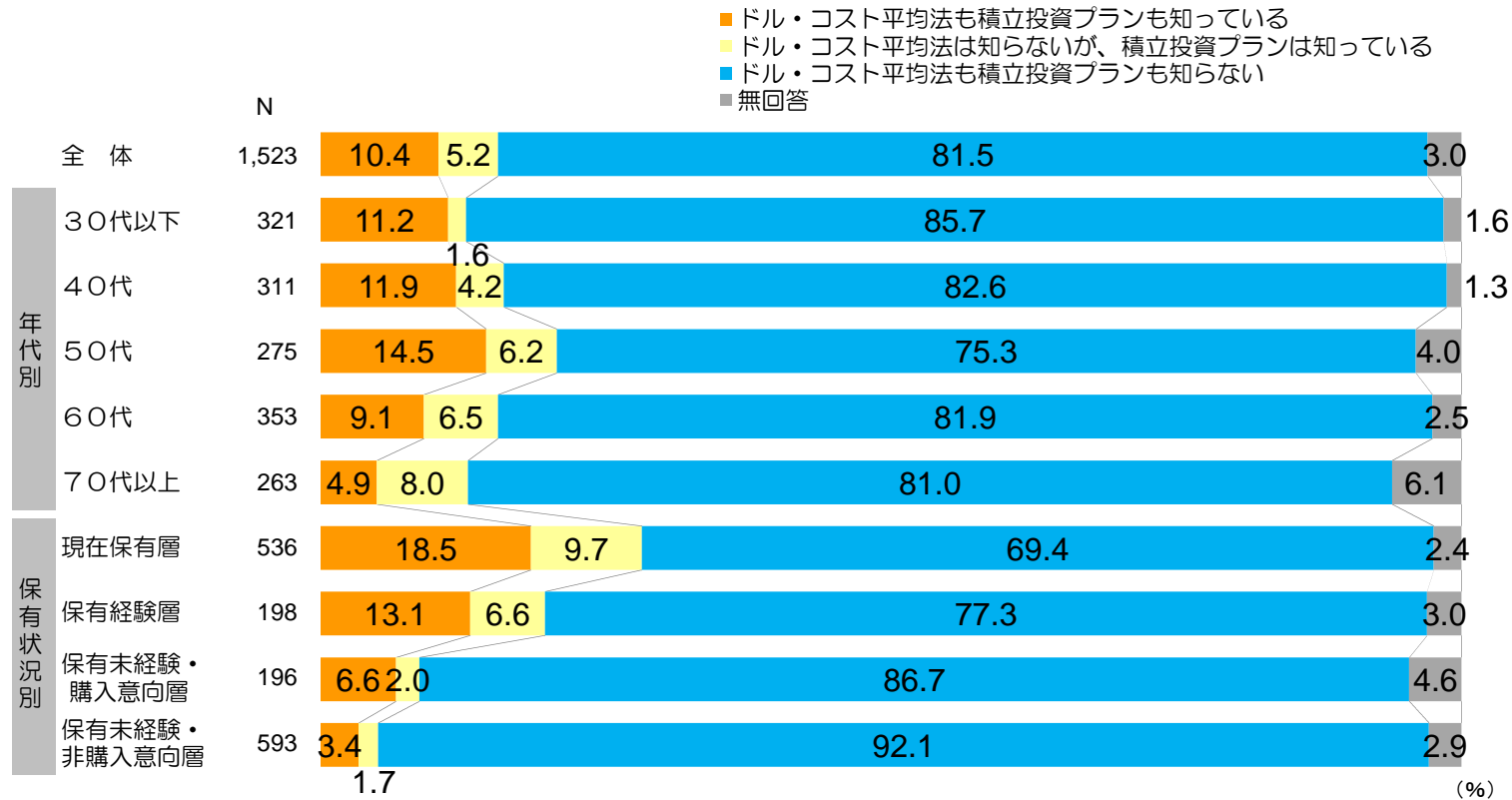
- 投資信託現在保有者のトータルリターン通知制度の認知率は、37.7%。
- 年代が上がるほど高く、70代以上では半数近くにのぼる。

# 4. 投資信託の積立投資の認知・利用状況（1）



## ドル・コスト平均法／積立投資プランの認知状況

(問45)



- ドル・コスト平均法／積立投資プラン「両方認知」率は10.4%、積立投資プランのみ認知率は5.2%。これらを合わせた“認知率”は15.6%にとどまり、「どちらも知らない」が81.5%を占める。
- “認知率”は50代を中心とした山型になっている。「両方認知」率も50代で最も高く、70代では5%未満と特に低い。
- 投資信託保有状況別では、投資信託との関わりが深い層ほど「両方認知」率が高い。

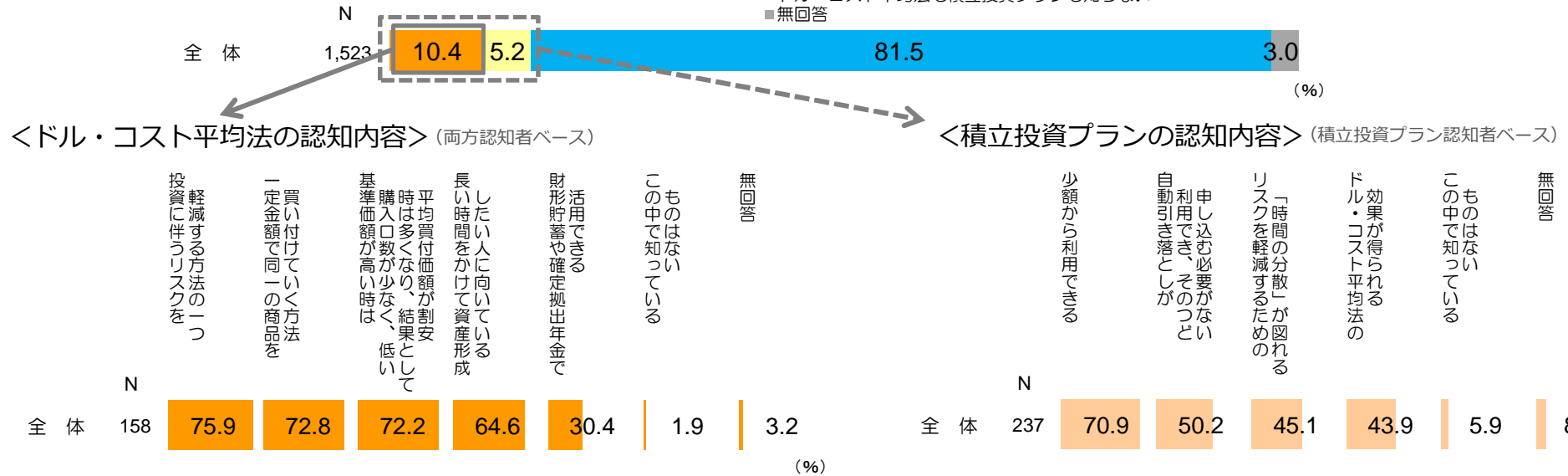
# 4. 投資信託の積立投資の認知・利用状況（2）



## ドル・コスト平均法／積立投資プランの認知内容（各重複回答）

(問45・問45-1・問45-2)

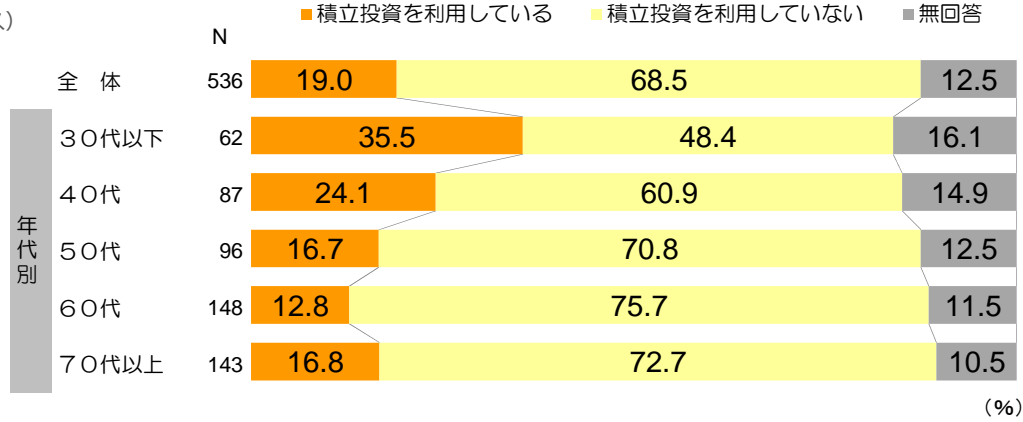
- ドル・コスト平均法も積立投資プランも知っている
- ドル・コスト平均法は知らないが、積立投資プランは知っている
- ドル・コスト平均法も積立投資プランも知らない
- 無回答



## 積立投資プランの利用状況

(問10)

(投資信託現在保有者ベース)



- ドル・コスト平均法認知者の認知内容は、「投資に伴うリスクを軽減する方法の一つであること」「一定金額で同一の商品を買い付けていく方法であること」「基準価額が高い時は購入口数が少なく、低い時は多くなり、結果として平均買付価額が割安になること」の3項目が70%台と高い。
- 積立投資プラン認知者の認知内容は、「少額から利用できること」(70.9%)が最も高い。
- 投資信託現在保有者における積立投資利用率は19.0%で、若年層ほど高い傾向。

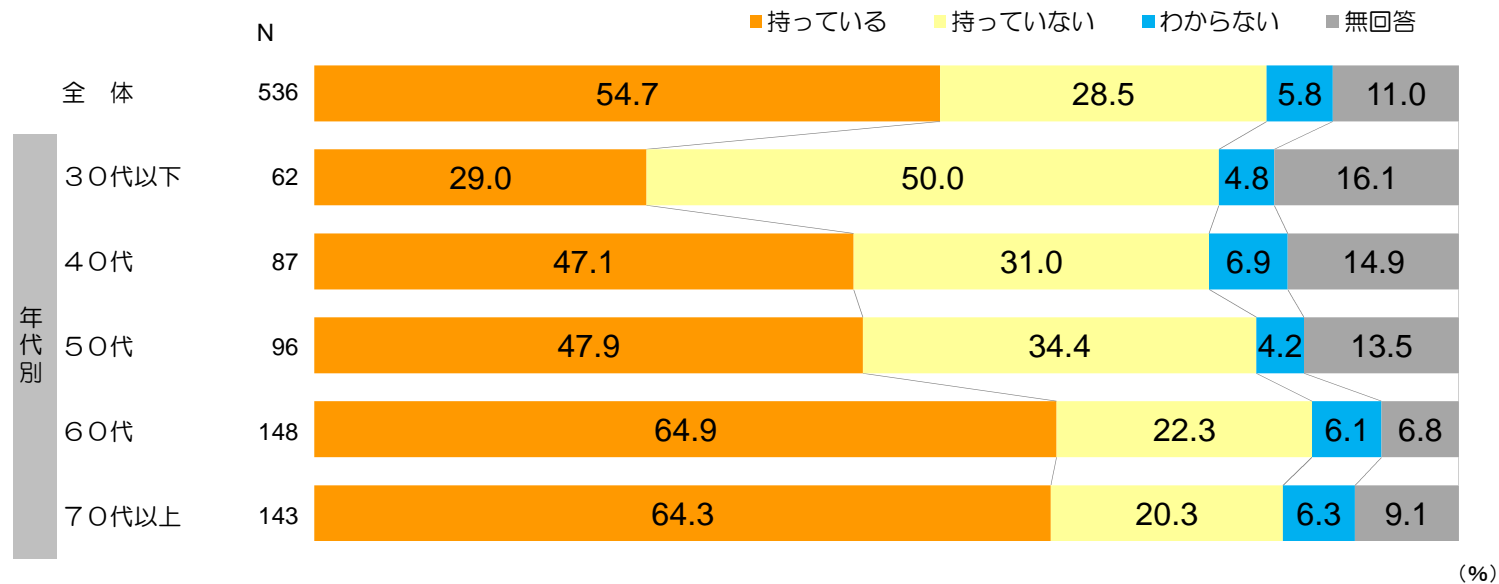
# 5. 毎月分配型投資信託についての意識（1）



## 毎月分配型投資信託の保有状況

(問11)

(投資信託現在保有者ベース)



●投資信託現在保有者における毎月分配型投資信託の保有率は54.7%。高年齢層で高い。

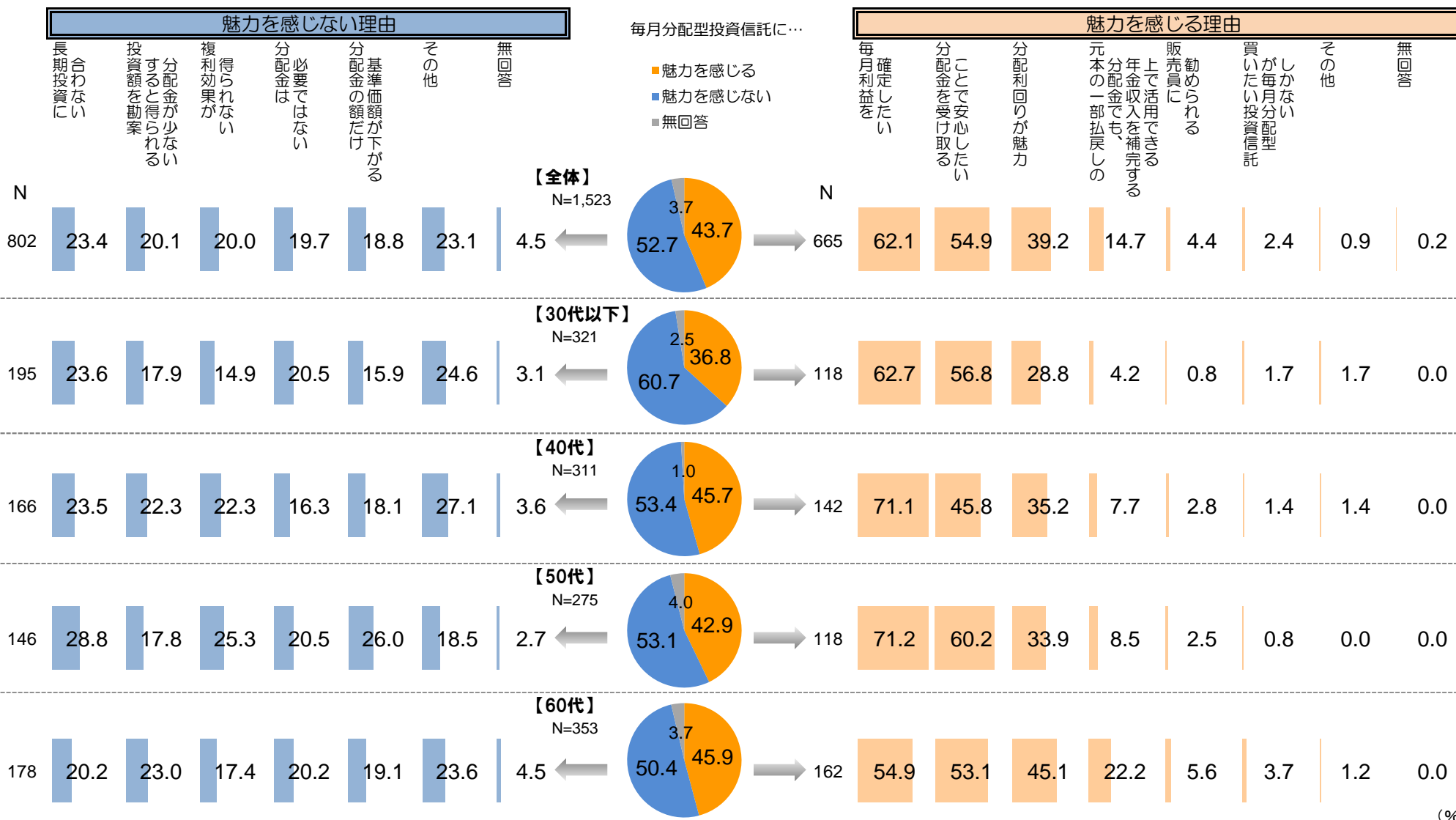


# 5. 毎月分配型投資信託についての意識（2）



## 毎月分配型投資信託についての魅力の有無とその理由（重複回答）

（問43・問43-1・問43-2）



- 毎月分配型投資信託に魅力を感じる人は43.7%と半数近くを占める。魅力率は30代以下では低い。
- 魅力理由は、「毎月利益を確定したい」(62.1%)が最も高く、年代別では40～50代で高い。「分配利回りが魅力である」は60代で高い傾向。
- 一方、非魅力理由は、「長期投資に合わない」「投資額を勘案すると得られない」「複利効果が得られない」「分配金は必要ではない」「分配金の額だけ基準価額が下がる」が約20%で並ぶ。50代は「長期投資に合わない」「分配金の額だけ基準価額が下がる」が高い。

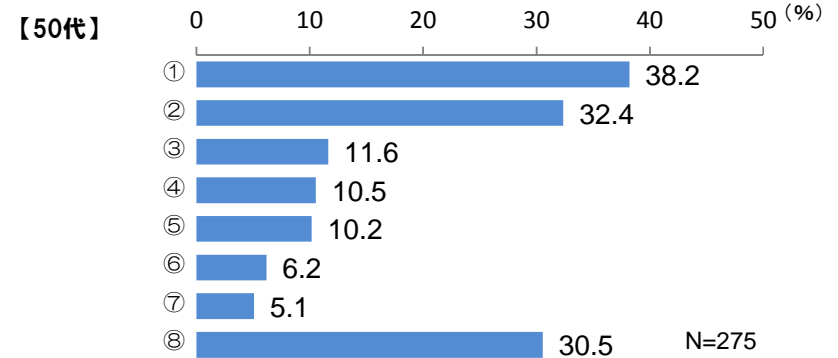
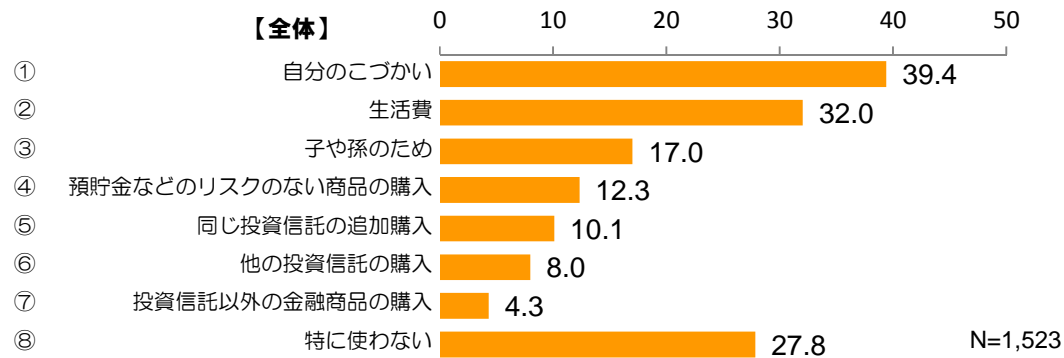
(%)

# 5. 毎月分配型投資信託についての意識（3）

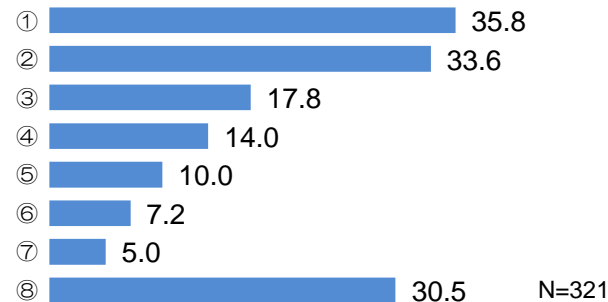


## 毎月分配型投資信託を保有した場合の分配金の使い道（重複回答）

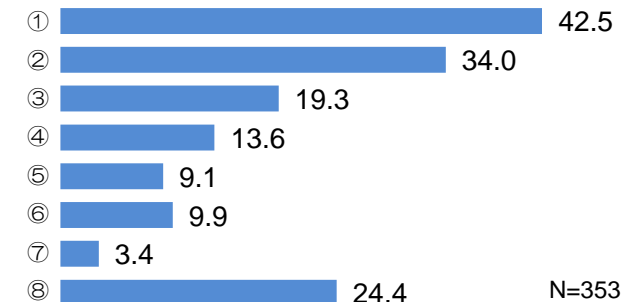
(問44)



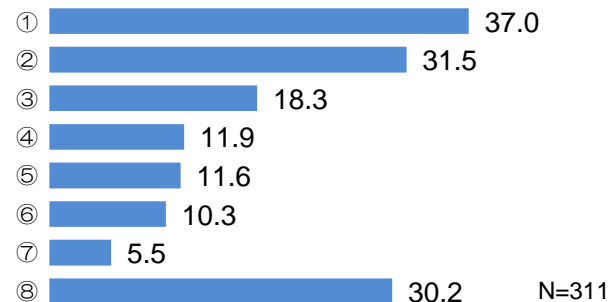
**【30代以下】**



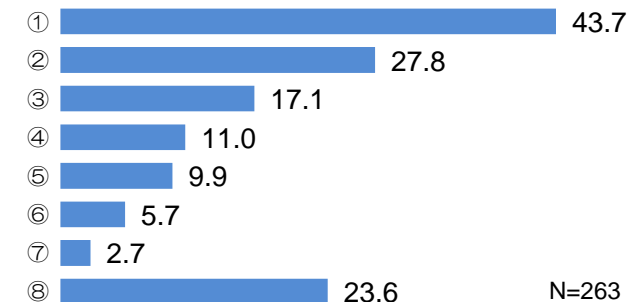
**【60代】**



**【40代】**



**【70代以上】**



※ 全体・各年代ともに「その他」1~2%、「わからない・特になし」は6~9%、「無回答」は1~4%程度

- 毎月分配型投資信託を保有した場合の分配金の使い道については、「自分のこづかい」(39.4%)と「生活費」(32.0%)が特に高い。一方、「特に使わない」も27.8%みられる。
- 「自分のこづかい」は年代が上がるにつれて高くなり、「特に使わない」は50代以下で高い。

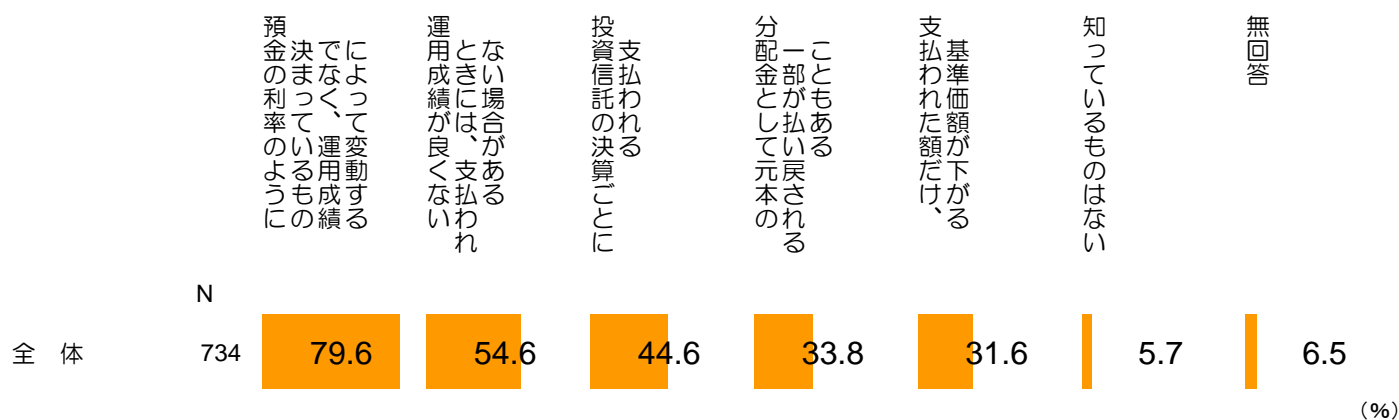
# 5. 毎月分配型投資信託についての意識（4）



## 投資信託の「分配金」の特徴で知っているもの（重複回答）

(問18)

(投資信託現在保有者・保有経験者ベース)



●投資信託の分配金の特徴についての認知内容については、「あらかじめ決まっているものでなく、運用成績によって変動する」(79.6%)は大半が認知。以下、「運用成績が良くないときには、分配金が支払われない場合がある」(54.6%)、「分配金は投信の決算ごとに支払われる」(44.6%)の順に続く。

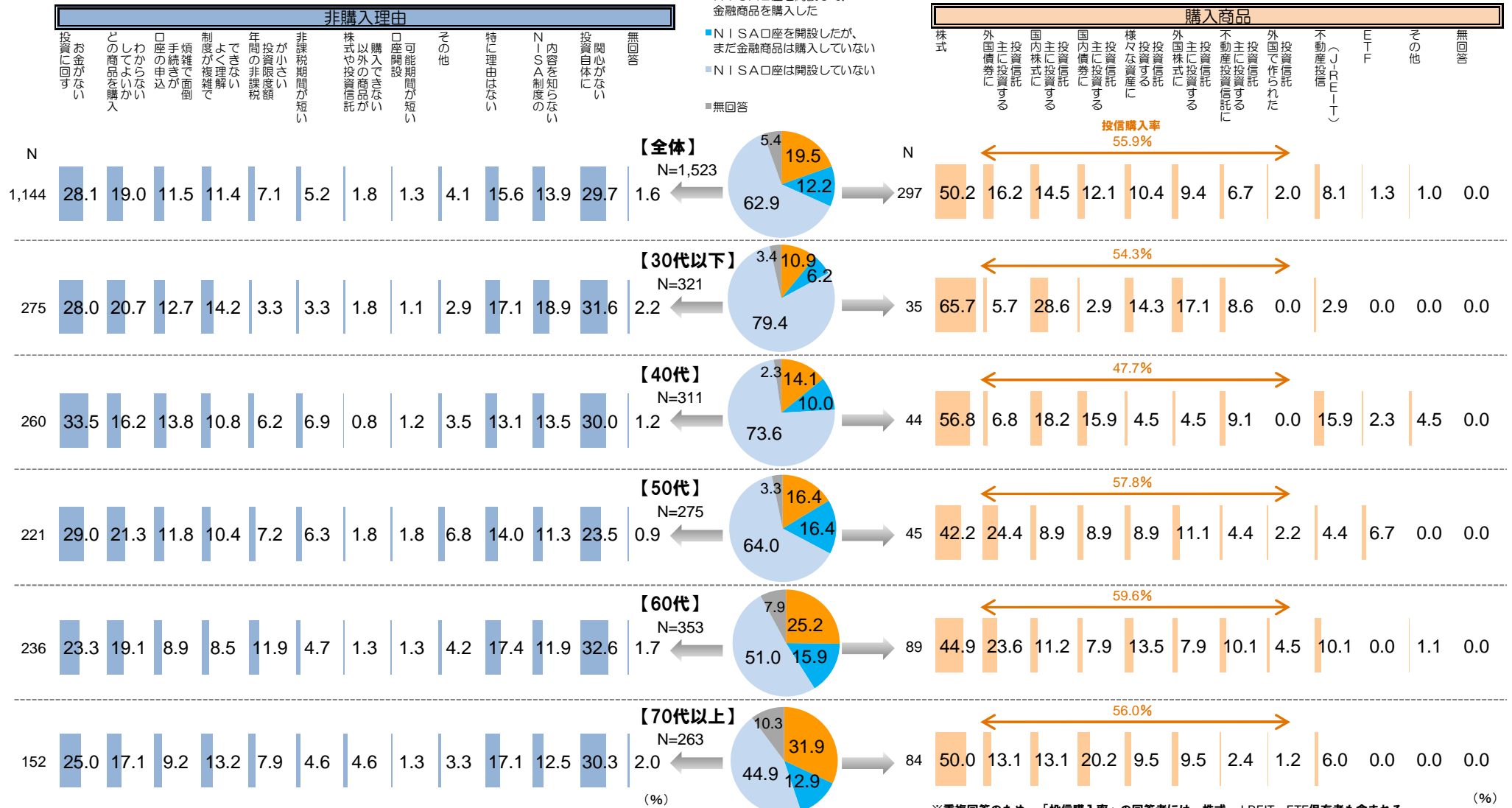
# 6. NISAに関する実態（1）



## NISA開設状況／非購入理由・購入商品（重複回答）

(問52・問52-1・問52-2)

- NISA口座を開けて、金融商品を購入した
- NISA口座を開けたが、まだ金融商品は購入していない
- NISA口座は開設していない
- 無回答



※重複回答のため、「投信購入率」の回答者には、株式、J-REIT、ETF保有者も含まれる。

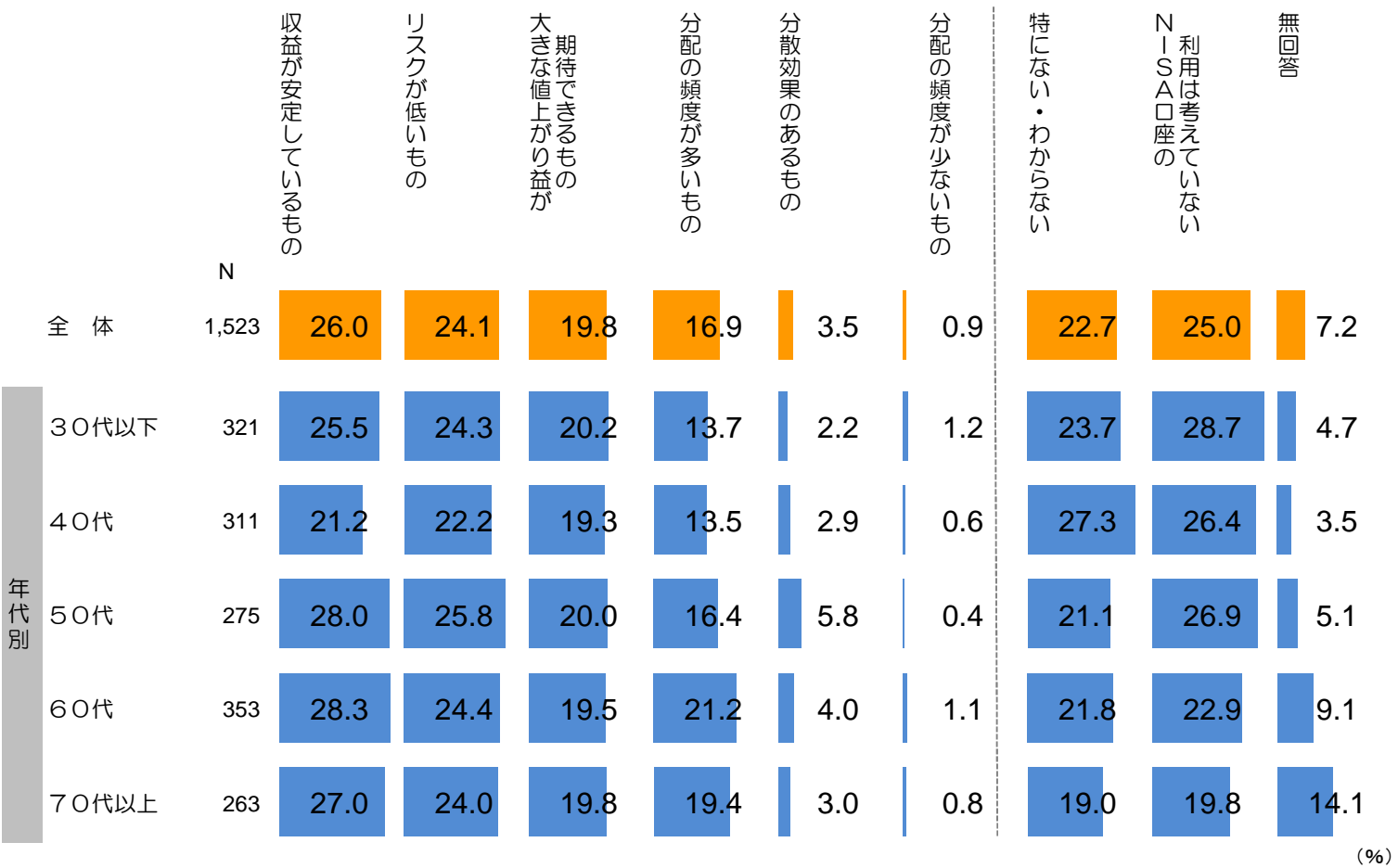
- この1年間のNISA口座開設・購入者(19.5%)、開設・未購入者(12.2%)を合わせた“口座開設率”は31.7%で、年代が上がるにつれて高くなる。
- NISAでの投資信託購入状況は、いずれか1種類以上の“投信購入率”が55.9%で、株式の50.2%を上回る。年代別では、30代以下は「国内株式」「外国株式」に主に投資する投信、40代は「不動産投信」、50～60代は「外国債券」に主に投資する投信がやや高い。
- 一方、非購入理由は、40代は「投資に回すお金がない」、60代は「年間の非課税投資限度額が小さい」、30代以下では「NISA制度の内容を知らない」が高め。

# 6. NISAに関する実態（2）



## NISA口座で購入したい商品の特徴（重複回答）

(問53)



- NISA口座で購入したい商品の特徴は、「収益が安定しているもの」(26.0%)と「リスクが低いもの」(24.1%)が同程度で高い。「NISA口座の利用は考えていない」が25.0%、「特にない・わからない」も22.7%みられる。
- 年代が低いほど「NISA口座の利用は考えていない」が高い傾向。60代以上では「分配の頻度が多いもの」がやや高い。